



## 平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 住友ゴム工業株式会社

コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 育嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 河野 隆志

TEL 078-265-3000

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

配当支払開始予定日

平成25年9月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	345,886	3.6	29,728	△7.9	27,716	△8.6	15,478	△5.7
24年12月期第2四半期	333,734	11.4	32,265	63.1	30,323	60.8	16,422	83.8

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 48,300百万円 (135.0%) 24年12月期第2四半期 20,556百万円 (65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	59.00	—
24年12月期第2四半期	62.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	774,845	311,396	36.6
24年12月期	737,528	271,102	33.1

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 283,541百万円 24年12月期 244,164百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	10.00	—	20.00	30.00
25年12月期	—	15.00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	780,000	9.8	80,000	14.7	73,000	8.4	42,000	18.5	160.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	263,043,057 株	24年12月期	263,043,057 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	713,101 株	24年12月期	710,059 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	262,331,659 株	24年12月期2Q	262,335,163 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成25年1月1日～平成25年6月30日)の世界経済は、米国においては緩やかな景気回復傾向が引き続き見られましたが、欧州においては景気の低迷が依然として続いており、中国、アジアを中心とする新興諸国では経済成長率が鈍化するなど、各国・地域間でばらつきが見られるようになりました。

わが国経済につきましては、円安の進行により輸出環境が改善してきたことに加えて、個人消費が持ち直すなど、景気回復に向けた動きが見られるようになりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、天然ゴム相場が比較的低水準で推移したことに加えて、為替の円安による輸出環境の改善がありましたものの、海外での需要は力強さに欠ける状況で推移しました。

このような情勢のもと、当社グループは、2020年を目標年度とする長期計画「VISION 2020」の実現を目指し、事業の成長と収益力の向上に向けて様々な施策を実施してまいりましたが、主力のタイヤ事業における海外市販市場での需要が低迷し、競争が激化するなど、厳しい状況で推移しました。

この結果、当社グループの連結売上高は345,886百万円(前年同期比3.6%増)、連結営業利益は29,728百万円(前年同期比7.9%減)、連結経常利益は27,716百万円(前年同期比8.6%減)、連結四半期純利益は15,478百万円(前年同期比5.7%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (タイヤ事業)

タイヤ事業の売上高は、297,786百万円(前年同期比3.4%増)、営業利益は26,328百万円(前年同期比5.9%減)となりました。

国内市販用タイヤは、最上の静粛性を追求した低燃費タイヤ「ビューロ VE303」や、低燃費タイヤブランド「エナセーブ」の高い環境性能をトラック・バス用タイヤにも拡大した「エナセーブ SP688」を発売するなど、低燃費タイヤを中心に拡販と販売構成の改善に努めたことなどにより、売上高は前年同期を上回りました。

国内新車用タイヤは、低燃費タイヤなどの高付加価値タイヤの拡販を進めましたが、国内自動車生産台数が前年同期を下回ったことにより販売数量が減少したため、売上高は前年同期を下回りました。

海外市販用タイヤは、政情不安により市場が停滞している中近東、天候不順で夏タイヤの需要が停滞したロシア等で販売数量は減少しましたが、為替が円安傾向で推移したため、売上高は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤは、当社が生産拠点を有する中国、タイ、インドネシアにおいて自動車生産台数が前年同期を大きく上回るなか順調に販売を伸ばし、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上高は前年同期を上回りました。

#### (スポーツ事業)

スポーツ事業の売上高は、32,731百万円(前年同期比3.2%増)、営業利益は2,345百万円(前年同期比31.8%減)となりました。

国内市場は、好天にも恵まれてゴルフ場入場者数は前年同期を上回りましたが、海外市場では、米国の天候不順や欧州の景気低迷により力強さに欠ける状況が続きました。

このようななか、国内市場においては、ゴルフボールでは革新的な非円形ディンプルを採用した新商品「ゼクシオ XD AERO(エックスディー・エアロ)」が好調に推移しました。しかしながら、ゴルフクラブでは主力商品「ゼクシオセブン(=7代目ゼクシオ)」が発売2年目のため販売が減少し、その他の商品も伸び悩んだため、国内販売全体としては低調に推移しました。

海外市場においては、米国で「クリーブランドゴルフ」のウェッジクラブの新商品などが好調に推移し、韓国では「ゼクシオ」シリーズのゴルフクラブが販売を伸ばしました。

以上の結果、スポーツ事業の売上高は前年同期を上回りました。

#### (産業品他事業)

産業品他事業の売上高は、15,367百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益は1,048百万円(前年同期比22.8%増)となりました。

戸建て住宅向け制震装置「ミライエ」を拡販したことや、プリンター・コピー機用精密ゴム部品や医療用ゴム栓などの高機能ゴム製品も順調に販売を伸ばしました。

以上の結果、産業品他事業の売上高は前年同期を上回りました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末の総資産は、774,845百万円と前期末に比べて37,317百万円増加しました。売上債権等の流動資産は2,337百万円減少し、固定資産は39,654百万円増加しました。流動資産の減少は、主として売上債権の減少によるものです。また、固定資産の増加は、設備投資による有形固定資産の増加が主な要因です。

一方、当第2四半期末の負債合計は、463,448百万円と前期末に比べて2,976百万円減少し、有利子負債残高は、293,814百万円と前期末に比べて17,938百万円増加しました。

また、当第2四半期末の純資産合計は311,396百万円、うち自己資本は283,541百万円、自己資本比率は36.6%、1株当たり純資産は1,080円85銭となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、ほぼ当初計画に沿って推移しておりますので、通期の連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表しました業績予想から変更ありません。

なお、当期における実際の業績につきましては、当社及び当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、原材料価格の変動、為替レートの変動などの様々な要因により、本資料発表日現在の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	33,514	35,815
受取手形及び売掛金	162,925	148,417
商品及び製品	78,808	95,274
仕掛品	5,180	5,234
原材料及び貯蔵品	38,919	39,036
その他	38,365	31,531
貸倒引当金	△1,540	△1,473
流動資産合計	356,174	353,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,871	80,248
機械装置及び運搬具(純額)	110,660	118,756
その他(純額)	85,292	99,064
有形固定資産合計	270,824	298,069
無形固定資産		
のれん	6,413	5,974
その他	12,704	15,219
無形固定資産合計	19,118	21,194
投資その他の資産		
投資有価証券	47,905	55,888
その他	44,494	46,890
貸倒引当金	△990	△1,035
投資その他の資産合計	91,410	101,744
固定資産合計	381,353	421,008
資産合計	737,528	774,845
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,806	70,180
1年内償還予定の社債	10,000	20,000
コマーシャル・ペーパー	3,000	—
短期借入金	68,384	91,614
1年内返済予定の長期借入金	14,112	15,752
未払法人税等	15,642	5,242
引当金	7,107	5,781
その他	61,617	51,654
流動負債合計	252,671	260,224
固定負債		
社債	65,000	45,000
長期借入金	110,142	116,247
退職給付引当金	12,777	13,401
その他の引当金	162	116
その他	25,671	28,458
固定負債合計	213,753	203,224
負債合計	466,425	463,448

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	38,661	38,661
利益剰余金	188,699	198,503
自己株式	△542	△547
株主資本合計	269,476	279,275
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,736	8,298
繰延ヘッジ損益	158	△177
為替換算調整勘定	△8,736	17,234
在外関係会社の年金債務調整額	△21,470	△21,089
その他の包括利益累計額合計	△25,311	4,266
少数株主持分	26,938	27,854
純資産合計	271,102	311,396
負債純資産合計	737,528	774,845

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	333,734	345,886
売上原価	213,442	217,766
売上総利益	120,292	128,119
販売費及び一般管理費	88,026	98,391
営業利益	32,265	29,728
営業外収益		
受取利息	442	438
受取配当金	213	269
持分法による投資利益	244	—
デリバティブ評価益	193	2,085
その他	1,198	979
営業外収益合計	2,292	3,772
営業外費用		
支払利息	2,363	2,465
為替差損	1,109	1,174
持分法による投資損失	—	1,207
その他	760	937
営業外費用合計	4,234	5,785
経常利益	30,323	27,716
特別利益		
固定資産売却益	—	578
特別利益合計	—	578
特別損失		
固定資産除売却損	477	293
減損損失	18	50
製品自主回収関連損失	521	—
特別損失合計	1,017	343
税金等調整前四半期純利益	29,306	27,951
法人税等	9,996	10,360
少数株主損益調整前四半期純利益	19,310	17,590
少数株主利益	2,887	2,111
四半期純利益	16,422	15,478



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,310	17,590
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	431	3,596
繰延ヘッジ損益	46	△335
為替換算調整勘定	678	23,901
在外関係会社の年金債務調整額	29	28
持分法適用会社に対する持分相当額	60	3,520
その他の包括利益合計	1,246	30,710
四半期包括利益	20,556	48,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,574	45,057
少数株主に係る四半期包括利益	2,981	3,243

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	タイヤ (百万円)	スポーツ (百万円)	産業品他 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	287,986	31,724	14,023	333,734	-	333,734
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	166	18	192	(192)	-
計	287,993	31,891	14,042	333,926	(192)	333,734
セグメント利益	27,970	3,440	853	32,263	2	32,265

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	タイヤ (百万円)	スポーツ (百万円)	産業品他 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	297,786	32,731	15,367	345,886	-	345,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	169	54	231	(231)	-
計	297,793	32,901	15,422	346,117	(231)	345,886
セグメント利益	26,328	2,345	1,048	29,722	6	29,728

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。